

2026年6月期
第3四半期決算説明資料

フィーチャ株式会社（東証グロース4052）

2026年5月14日

Make Things
Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。



売上高

366百万円

前年同期比 9.3%減

営業利益

4百万円

前年同期比 81.3%減

主要ハイライト

- ▶ 大手自動車メーカーとの共同開発案件の中断により、受託開発収入が大きく減収
↳ 再開に向けた協議を続けてきたが、顧客都合により一時中断
- ▶ 当社ライセンスの新車向け車載カメラの量産が好調だったことにより、ライセンス収入は増収
↳ 当社ライセンス製品の累計販売台数は360万台を突破
- ▶ 大手自動車部品メーカー(Tier1)との共同開発案件にて、追加プロジェクトを受注
↳ 複数のプロジェクト受注により、今後の売上増加を見込む
- ▶ 経営効率の観点から、研究開発拠点を本社に集約し、中国北京子会社の清算手続きを開始
↳ 2025年10月解散決議、必要な手続きが完了次第清算

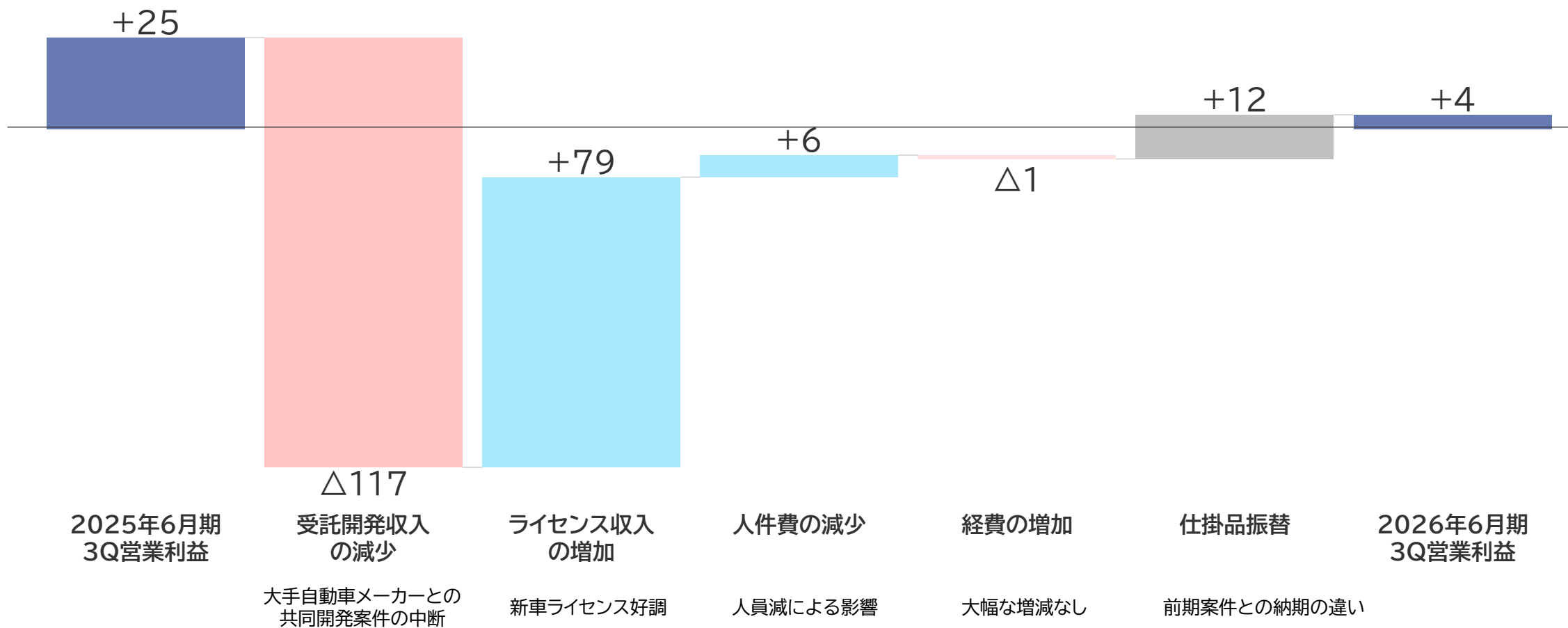
ライセンス収入は、当社ライセンスの新車向け車載カメラの量産が好調で増加したものの、受託開発収入での大手自動車メーカーとの共同開発案件の中断による減少をカバーできず、減収減益

(単位:百万円)

	2025年6月期	2026年6月期			
	3Q実績	3Q実績	前年同期比	通期予想	進捗率
売上高	404	366	△9.3%	540	67.8%
うち、受託開発収入	286	169	△40.9%	395	42.8%
うち、ライセンス収入	117	197	+67.6%	145	136.0%
売上原価、販管費	378	361	△4.4%	523	69.1%
うち、人件費	229	223	△2.7%	323	69.3%
うち、経費	146	147	+0.8%	200	73.7%
うち、仕掛品振替	2	△9	—	—	—
営業利益	25	4	△81.3%	17	27.7%
経常利益	24	4	△83.7%	17	22.6%
親会社株主に 帰属する当期純利益	13	2	△81.9%	14	17.2%

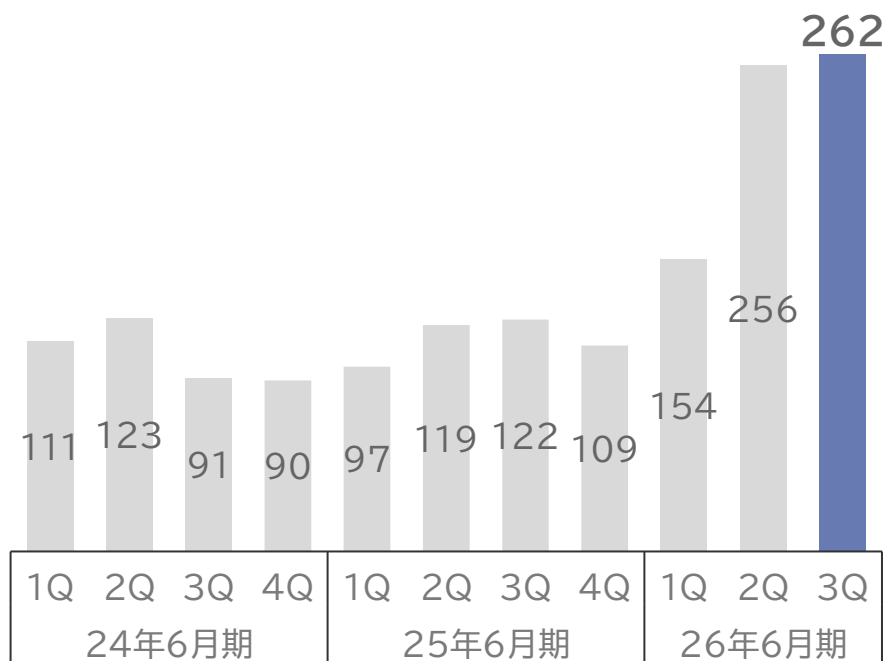
共同開発案件の中断に伴う受託開発収入の減少により、減益

(単位:百万円)

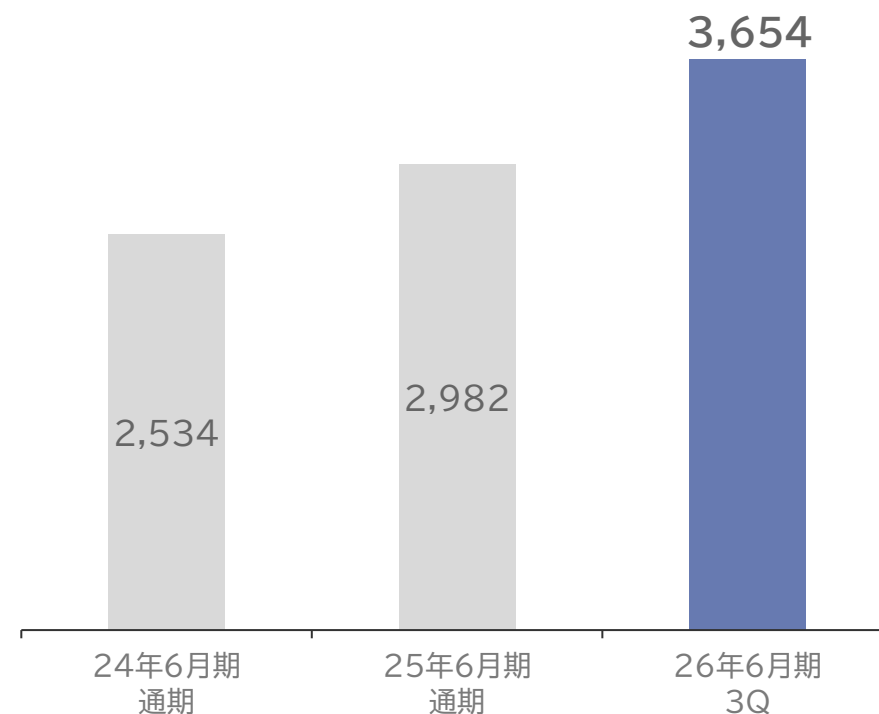


当社ライセンス製品が搭載された新車の量産が好調

四半期別量産台数(千台)



累計量産台数(千台)



図面解析AI「Drawing-AI」を多業種対応へ拡張し、AI活用領域のさらなる市場拡大を推進



エレクトロニクス領域

電子回路図
電気系統図



機械・製造領域

金型図面
部品設計図
設備配線図



建設・不動産領域

建築図面
間取り図

出展概要

展示会名:
第10回AI・人工知能EXPO[春]
開催期間:
2026年4月15日(水)~17日(金)



(参考)四半期決算情報

(単位:百万円)

	2025年6月期				2026年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	120	126	157	93	95	109	161	
うち、受託開発収入	83	87	115	53	46	33	88	
うち、ライセンス収入	36	39	41	39	49	75	72	
※売上原価	46	45	51	36	35	16	44	
売上総利益 (粗利率)	73 61.4%	80 63.8%	106 67.5%	56 60.6%	60 63.4%	92 84.8%	117 72.6%	
※販管費	81	80	73	91	90	88	87	
うち、研究開発費	30	29	24	40	33	35	24	
営業利益 (営業利益率)	△7 -	0 0.1%	32 21.0%	△35 -	△29 -	4 3.8%	30 18.7%	
※原価+販管費合計	127	126	124	128	125	105	131	
うち、人件費	80	74	74	75	75	72	75	
うち、経費	46	51	48	48	49	46	52	
うち、仕掛品振替	0	1	0	3	0	△13	3	

本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、さまざまなリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、本資料公表日現在において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。